

今月のピックアップ生薬

4月

展示番号 NO.4 黄芩(オウゴン)

◆使用部分 (つかうところ)

根を乾燥させ、周りの皮をむいた部分・・・**枯れた木の枝という感じ**…。



◆産地 (とれるところ)

中国・日本・・・**ほとんど中国ですが、岩手県、鹿児島県などでわずかながら生産しています。**

◆用途 (どんな時に使う?)

健胃消化薬、消炎、解熱など・・・**においはなく、少し苦いです。お腹がゆるくなったりもします。**

◆どんな植物

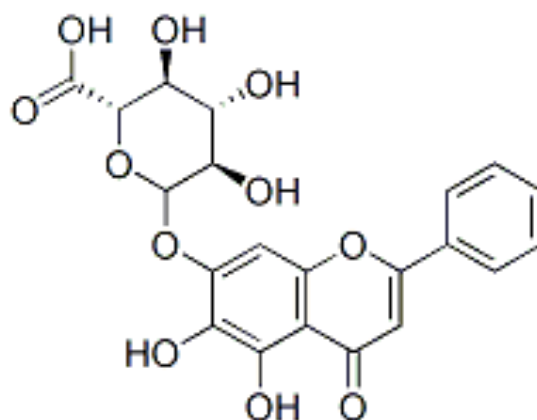
主にモンゴル～中国～朝鮮半島に生える多年草草本、コガネバナです。夏に紫色の唇形をした花が穂状に咲きます。上部の草花の細い状態に比べると、その根は太くなっています。また、

木の根という感じの硬さを持っています。中身がしっかり詰まっており、苦味が強いと良い生薬になるとされています。

◆化学成分： フラボノイド系化合物 wogonin , baicalin

フラボノイド系のオウゴニン、バイカリン、バイカレイン、クリシンなどが含まれています。

中でもオウゴニン、バイカリン、バイカレイン、には解熱作用や消炎作用があります。また、殺菌による下痢止め作用もあります。



バイカリン
フラボノイド系化合物の一種。とても複雑な形…。

フラボノイドとは、天然に存在する有機物の一群で、植物では、葉などに多く存在します。アントシアニンなどの色素もフラボノイドに分類されます。

来月は、No.38の丁字(チョウジ)を取り上げます。

実際の医薬品としての効能などについては、薬剤師や、医師にご相談ください。